

2020年7月28日

各位

会社名 竹本容器株式会社  
代表者名 代表取締役社長 竹本 笑子  
(コード番号: 4248 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 経営企画室長 戸田 琢哉  
(TEL. 03-3845-6107)

## 2020年12月期 第2四半期(累計)期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績の動向等を踏まえ、2020年1月31日に公表した2020年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年12月期第2四半期(累計)期間 連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日~2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,450	700	700	480	38.31
今回修正予想 (B)	7,419	989	999	671	53.63
増減額 (B-A)	▲ 30	289	299	191	
増減率 (%)	▲0.4%	41.4%	42.8%	40.0%	
(ご参考) 前期第2四半期累計実績 (2019年12月期)	7,840	839	859	565	45.12

#### 2. 修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、日本国内では新規案件獲得の増加とリピート需要の回復に加え、新型コロナウイルス感染症予防対策としての衛生関連向けの需要が増加しましたが、中国国内での事業活動停止命令による影響があり、売上高は前回予想を下回る見込みです。

一方、原油価格の低下に伴う樹脂原材料価格の低下、中国政府による社会保険料免除の施策適用、設備投資実施時期の先送りによる減価償却負担の減少などにより、営業利益は前回予想に対して41.4%増となる989百万円となる見込みであり、経常利益、四半期当期利益も同様に増加する見込みです。

2020年通期業績予想に関しては、樹脂原材料価格の低下傾向の継続、中国国内での社会保険料免除期間の延長などの要素はあるものの、引き続き世界規模で新型コロナウイルス感染症の脅威が存在しており、当社グループの売上高構成比が高い化粧品業界での店頭販売の抑制や生活者の外出機会の減少による需要の変化が懸念されるなど、不確実性が多く、现阶段で通期連結業績予想については変更していません。

今後、通期連結業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示する予定であります。

以上